

科目名	ファイナンス論Ⅱ			担当教員	浅野 礼美子
単位	2単位	講義区分		ナンバリング	EI2ECA308
期待される学修成果	社会事情に対応する応用力、情報の分析に関する力、				
アクティブ・ラーニングの要素	該当なし				
実務経験	(空白)				
実務経験を生かした授業内容	(空白)				
到達目標及びテーマ	<到達目標> コーポレート・ファイナンスに関する課題を、理論と実践の双方から考察して、意見を述べることができる。 <テーマ> 資金調達の決定と市場の効率性、及び利益還元政策と資本構成について理解することができる。				
授業の概要	リスクと資本コスト、効率的市場と行動ファイナンス、企業の資金調達の概要、利益還元政策、負債政策といった各トピックについて、事例の考察及び演習問題を解きながら理解を深めていく。 ファイナンス論Ⅰで取り上げた理論・考え方を十分に修得していることを前提に講義・習熟度試験（小テスト）を実施するため、ファイナンス論Ⅰの単位を既に修得済みである方のみ履修登録するようお願いします。 中学・高校程度の数学知識をもっていることを前提に講義を進めます。数学を苦手とする受講生は、中学・高校程度の数学を復習しておくことが望ましい。 日本経済新聞や金融経済に関するニュースを積極的にみて、金融経済への関心を高めておくこと。				

授業計画	
第1回	ガイダンス
第2回	リスクと資本コスト（１）：企業とプロジェクトの資本コスト
第3回	リスクと資本コスト（２）：資本コストの推計
第4回	リスクと資本コスト（３）：リスク分析、何が資産のベータを決定するのか
第5回	効率的市場と行動ファイナンス（１）：効率的市場とマーケットアノマリー
第6回	効率的市場と行動ファイナンス（２）：行動ファイナンスの基礎
第7回	企業の資金調達の概要（１）：資金調達の類型と株式
第8回	企業の資金調達の概要（２）：債券、金融システム
第9回	企業はどのように証券を発行するのか：新規公開株式（IPO）とベンチャーキャピタル
第10回	利益還元政策：利益還元の定義、利益還元政策に関する議論
第11回	負債政策：モジリアーニ＝ミラー入門、ベッキングオーダー理論
第12回	コーポレートファイナンスに関する話題
第13回	ESG投資
第14回	地球温暖化と株式市場
第15回	総括

事前学修	2時間	教科書の該当箇所を読み、要点を説明できるようにしておくこと。
事後学修	2時間	教科書の講義内容に該当する部分と配布資料を解釈し、小テストを解くこと。
フィードバックの方法	習熟度試験（小テスト）について、採点結果を開示し、その時点までの理解度が確認できるようにフィードバックする。	

補足事項	対面授業を実施する場合、指定された座席に着席してもらう予定です。 各自の責任においてユニバの小テストを期限までに実施・提出してください。
------	---

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
コーポレート・ファイナンス 第10版（上）	リチャード・ブリーリー、スチュワート・マイヤーズ、フランクリン・アレン	日経BP社	978-4-8222-4860-4	なし
参考資料	日本経済新聞。その他、講義の中で適宜指示する。			

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
定期試験	0%	実施しない
上記以外の試験・平常点評価	100%	習熟度試験（小テスト）80％と平常点（小テストへの取り組み、授業態度、貢献度など）20％の合計